

日本舞踊

創作太鼓



あきた

和

のフェスティバル

藤蔭流藤袖会

伝統行事

民謡



箏コラボ

三味線コラボ



NAMAHAGE 郷神楽

梅若流梅若会

◆ 樂の実 ◆

◆ 西馬音内の盆踊保存会 ◆

◆ 伽羅 ◆

◆ あきた舞妓 ◆

◆ 高橋キヌ子社中 ◆

2023 9/18 [月・祝]

開場 12:45 開演 13:30 16:00 終演予定

由利本荘市文化交流館カダレ

秋田県由利本荘市東町15

チケット料金 一般/前売券・当日券 1,000円/自由席 ※中学生以下無料

プレイガイド

カダレ総合案内 0184-22-2500
コンノ楽器 0184-22-2489
さががけニュースカフェ 018-874-8171

第1部

13:30 開演

■藤蔭流藤袖会
■梅若流梅若会

■NAMAHAGE 郷神楽

第2部

15:00 開演

■樂の実(箏コラボ)
■西馬音内の盆踊
■伽羅 × あきた舞妓 × 高橋キヌ子社中(三味線コラボ)

JAPAN
LIVE YELL
project



主催：「ジャパン・ライブエール・プロジェクトinあきた」実行委員会/公益社団法人日本芸能実演家団体協議会

共催：一般社団法人カダレ文化芸術振興会

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業(アートキャラバン2)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会
事業名：JAPAN LIVE YELL project

お問い合わせ ジャパン・ライブエール・プロジェクト in あきた事務局 (ABS 秋田放送内) TEL : 018-826-8545 (平日 9:00~17:00)

出演者プロフィール

藤蔭流藤袖会 (ふじかげりゅうとうしゅうかい)

藤袖会は日本舞踊、地唄舞などを勉強していますが、日本舞踊を基礎にした新しい創作の舞踊にも力を入れています。
会員それぞれが長い舞踊歴を持ち、平成20年、県内の藤蔭流を学ぶ同志で、「藤袖会」(会主藤蔭小枝)を立ち上げ、後進の育成指導に努め、日本舞踊の発展に尽力しています。藤袖会の一門会として、県民会館、由利本荘市カダーレ、秋田市文化会館そして昨年はミルハスで約40名の出演者で公演をしました。
県内各地域の文化活動に貢献するほか、国立劇場や国民文化祭に出演するなど広く活動しています。



西馬音内盆踊保存会

西馬音内盆踊りは、秋田県羽後町で毎年8月16日から18日に開催される伝統行事です。この盆踊りは700年以上の歴史があると言われ「国の重要無形民俗文化財」や「ユネスコ無形文化遺産 風流踊」として登録されており、日本三大盆踊りの一つとして称されています。
端縫い衣装に編み笠、藍染浴衣に彦三頭巾といった衣装を身にまとい、野趣あふれる軽快なお囃子に対し、流れるような優美な踊りが西馬音内盆踊りの特徴です。



梅若流梅若会 (うめわかりゅううめわかかい)

日本民謡梅若流梅若会は初代浅野梅若が培った秋田の音、唄、三味線の技術や郷土芸能の継承を目的とし活動しております。
二代目浅野梅若を筆頭に門下一同、秋田民謡の研鑽、披露のみならず現代音楽との融合をはかり日々継承からの進化を研究しております。
初代浅野梅若、二代目浅野梅若指導のもと財団法人日本民謡協会、一般財団法人日本郷土民謡協会主催の全国大会において多数の内閣総理大臣賞受賞者を輩出しております。



NAMAHAGE 郷神楽 (なまはげ さとかぐら)

2002年結成。郷土への強いこだわりを持ち、熱いライブは、観る者の魂を揺さぶります。幅広い年齢層にファンを持ち、性別を超え、国境を越え、ジャンルを超え、「規格外」のパフォーマンスを展開。田舎の砂利の駐車場から始まったストリートライブが原点も、台湾、韓国、上海、フランス、マレーシアなど世界中で公演。2023年は、フィリピン公演も成功させています。代表曲はなまはげスタイルで演奏する「門踏み」



男鹿のナマハゲ

ナマハゲ行事は毎年、大晦日の晩に秋田県男鹿半島のほぼ全域で行われます。年に一度各家庭を巡り、豊作・豊漁・吉事をもたらし、怠け者を戒める神の使者です。2018年には「来訪神:仮面・仮装の神々」としてユネスコ無形文化遺産に登録されました。

樂の実 (ラクのミ) 田中郷子(箏) / 藤原ケイ子(チェロ) / 高澤衣久子(ピアノ、マリンバ)



田中郷子(箏)

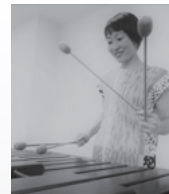
東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。2005年箏、三絃教室を開軒し、演奏活動を始める。2007年宮城道雄記念コンクール入賞。2008、2009、2010年リサイタルを開催。2010年秋田市文化選奨受賞。2018年より秋田

大学教育文化学部非常勤講師を務めている。2019年よりアトリエコンサート、訪問演奏のメンバーとして活動している。和楽器のほか、洋楽器、舞踊、語りなどとコラボも行っている。生田流宮城社師範。森の会会員、秋田県三曲連盟理事、箏曲宮城会秋田理事、樂の実主宰。



藤原ケイ子(チェロ)

山形大学教育学部特設音楽科ピアノ専攻卒業。同専攻科チェロ専攻修了。その後、山形交響楽団へ入団。在団中ジョイントリサイタルや室内楽コンサートなどを行う。活動の拠点を秋田へ移し、ソロリサイタル、室内楽コンサート、オーケストラ活動、ピアノ伴奏など、多数の演奏会に出演。聖霊女子短期大学音楽科および秋田大学教育文化学部、元非常勤講師。高校在学中、全東北ピアノコンクール入選。2004年木内音楽賞受賞。



高澤衣久子(ピアノ、マリンバ)

山形大学教育学部音楽文化コース卒業、洗足学園音楽大学器楽専攻科修了。打楽器の演奏活動と高校生への指導を経て、平成15年4月神奈川県特別支援学校に採用、10年間勤務した後、秋田へ戻る。打楽器、マリンバを目黒一則、須藤八汐、岡田知之、新谷祥子の各氏に師事。現在、県立秋田きらり支援学校音楽科教諭。各地でボランティア活動としてコンサートに出演、小中高校への打楽器指導も行う。

伽羅

秋田を音にする、和楽器電子楽器混成ユニット。
小林義隆(和太鼓、パーカッション、ドラム)、本間貴士(コンポーザー、ギター、シンセサイザー)、小野輪太郎(ギター、ベース)、浅野修一郎(三味線)の4名で活動する。
2018年、台湾新北市で行われた国際ドラムフェスティバルに出演した元シルク・ド・ソレイユダンサー Billy Chang氏演出主演の風神雷神に伽羅で楽曲制作、提供。UK JAZZ DANCER YOSHITAKA氏へ楽曲制作、提供。2021年11月13日「YOSHITAKA DANCE LIVE2021 ゆうやみに舞う」楽曲制作、提供、出演。NAMAHAGE郷神楽スペシャルライブ、ゲスト出演のほか、イベント、祭典奉納演奏多数出演している。



あきた舞妓 紫乃 / 佳乃藤

明治時代から伝わる秋田市川反の花柳界。大正～昭和初期にかけては200人ほどの芸者舞妓が居たと言われますが、現在は6名で活動。お座敷だけでなく劇場や様々なイベント出演や観光面での活動などを通して、川反花柳界が途絶えぬよう、そして秋田を盛り上げられるよう日々励んでおります。



紫乃



佳乃藤

高橋キヌ子社中

仙北が生んだ民謡の女王、佐藤貞子の最後の弟子である高橋キヌ子師匠が創設し、50年余りの歴史がある社中です。
民謡と郷土の踊りを伝承し、広く知ってもらうために県内外様々なイベントに出演しています。また民謡民舞の大会にも出場し、令和元年には日本郷土民謡協会主催民謡民舞全国大会、民舞グランプリ部門にて優勝し内閣総理大臣賞を頂いております。

